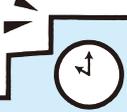


# 共に学ぶ



## 学校へ行こう

**坂崎小**

校長 山田 富久  
 全校生徒数 206人  
 男子:101人 女子:105  
 問合せ ☎62-0115

## ライスフェスティバル2012 〜お米で広げ笑顔の輪〜

坂崎小学校では、毎年5年生が地区の斉藤さんのご指導ご支援のもと、学校田で米作りを行っています。今年も5月に植えたコシヒカリが9月にはいっぴいの実をつけ、203キロのお米を収穫することができました。

収穫したお米を使って何かを作り、全校児童や坂崎保育園の子、行事などでお世話になった皆さん、保護者、先生などを招待することになり、ライスフェスティバルを開きました。5年生だけで行う最大の行事です。お米では、ご飯のべつたんこ焼き



▲五平餅を焼く児童

を作りました。お米だけではなく、マルサンの社員さんを講師に招き、味噌作りを教えてください、おいしい味噌も作りました。その味噌を使って、五平餅も作りました。さらに、大根、にんじん、ごぼうも育てたので、お味噌と野菜を使って、豚汁も作りました。みんなを笑顔にしたい、お世話になった皆さんに感謝の気持ちを伝えたいという思いで、5年生26人で、約400人分のべつたんこ焼き、五平餅、豚汁を作りました。準備が終わり、1年生から順に、続々とお客さんが来ました。



▲豚汁を食べ笑顔の1年生

子どもたちは、「いらっしやいませ。」と大きな声を出し、お客さんを笑顔でおもてなしました。1学期にお世話になった、キャンプカウンセラーさんや、マルサンの社員さんも来てくださり、子どもたちのやる気はいっそう高まりました。お客さんが、笑顔で、「すごくおいしい。」「おいしいから、もっと食べたい。」「言ってくれたことが、子どもたちをさらに笑顔にしました。」

★待ちに待ったライスフェスティバルの日がやってきました。ほくほく、みんなに笑顔になってもらいたいというのを目標に

がんばりました。最初に1年生が来ました。そして、保育園の子たちも来て、とても大変だったけど、みんなで協力してがんばりました。ライスフェスティバル2012が終わり、片付けもみんなで協力して早くできました。お客さんが笑顔になってくれたので、本当にうれしかったです。

★目標達成！全校のみんなの笑顔が見られました。私はべつたんこ焼きチームでしたが、豚汁チームのお手伝いもできました。豚汁チームの子も助けられました。

(児童の感想より)

5年生の子どもたちは、このライスフェスティバルを通して、友達と力を合わせ、協力してがんばること、みんなが喜んでくれることが自分たちの喜びにもなること、みんなががんばり、みんなであり遂げることの達成感、満足感を大いに感じたことでしょう。たった26人で、400人分×3種類の料理を作り、お客さんをおもてなししたことは、子どもたちの大きな自信と宝になったと思います。



▲やり遂げた笑顔いっぴいの児童



「ペロペロパー」  
【木版画】



4年  
やまもと かいと  
山本 凱渡 くん

先生から 彫刻刀を使い分け、方向を工夫しながら彫ることができました。鼻や舌などを大きく力強く表現できましたね。楽しさが伝わってくる作品です。



「わらったぼく」  
【紙版画】



1年  
おかだ はる  
岡田 晴 くん

先生から □や目を大きく作って表情豊かな作品になりました。髪の毛の毛糸や歯などの小さな部分もていねいにはりつけることができました。



画伯登場  
坂崎小学校

